

R-18
for Adult
only!



東方
木の子

~千儿の子育て奮闘記!?!~

何故かは分からない



オギヤア

オギヤア

オギヤア

オギヤア

だけど不思議なくらい遠く……
その声は聞こえてきた

雪降る湖畔、
古木の麓で身を寄せ合う
3人の捨て子

氷の妖精が彼らを拾ったのは
哀れみからか気まぐれか

これは彼らと彼女のお話

年を取らないお馬鹿な妖精と、
3人の木の子が織りなす
ハートフルコメディー

オギヤア

オギヤア

オギヤア

オギヤア

オギヤア

オギヤア

オギヤア





やっぱ迫力あるツスわ...

あ...
前言撤回



いい度胸じゃない?

あんたらねえ...
またあたいのいいつけサボって



いでっ!
いでっ!



ママ...
ごめんない

ナメコ!



ちよ待つ
母さ...

エノキツ!



いいかげん
親のシゴトの手伝いくらい
できるようになったらどうなの!

今日はオトクイ様くるから
湖のまわり掃除しとけて
言ったでしょーが!

うっせーなあ
チルノ!

小遣いもくれないクセして
何が手伝いだよ!

だいいち急に金なんて稼ぎ出して
使い道なんてなんもねーじゃねー...

三男 エノキ

次男 ナメコ

長男 シイタケ



母親兼氷の妖精 チルノ

賑やかなね、妖精さん



そんな子に育てた覚えは
ないよあたいは

らん? シイタケ
あんたはいつまでも
親を呼び捨てにして



約束通り
涼みに来てあげたわよ

潇洒なメイド
咲夜

湖畔の屋敷の吸血鬼
レミリア

図書館の魔法使い
パチュリー





*覗き

おおおおお
爆乳控えめより取り見取り!

あのうす布一枚の下に
女体の神秘が...



ふふ...
ここはぼくの
出番のようですね

エノキツ!
お前まさか...
あの力を!?



遠見、透視...
隠されたものを見破る能力



メガネの末弟エノキ
彼には育ての親たるチルノにさえ明かさぬ
ひとつの力がある

千里眼程度の能力!

ピクッ

ピクッ



だがその力は今や

ステ
逃げッ!

棄児たるが故の...
悲しき願いのもたらした力



ステッ!

「いつか本当の親を見つけて出ししたい」
それは彼の隠された願望が
具現化したものだったかもしれない



おも
口に、
目的で
つかわれる

キヤッ

キヤッ

フオオおオツ!

ふおツ!

カ
ア



見える...



よしっ、接続したな！
ナメコ、エノキの視覚を
俺に送ってくれ！
う...うん



無口な次男 ナメコ
彼の力は近しいものとの五感の共有
肌凍る冬に捨てられた赤子のころ
身を寄せ伝え合う互いのぬくもりが
兄弟の命を繋ぐ縁だった

その経験はいつしか
少年がこの先を生きゆくための
血肉となっていたのだ
命で結ばれた、何よりも大切な証
それは絆の力

だが今やその力は
おもに工口目的でry

*3人で視覚を共有。



ねえ、
そこの3人さん！



面白そうな子たちじゃない
ちよっと味見してみましようか



パチエ、あの子ら
見てるわねえ

...みたいね



そんなに元気が余ってるなら私たちが筆おろししてあげまじょうか
見ているだけじゃツマンナイでしょ?

ちよっと!
うちのばかたちに
へんな冗談言わないでよね!

えん!?

どわん

スミ♡



冗談なんかじゃないわ
妖精さん

これはあなたにとつても悪い話じゃないはずよ
あなたがせつせと小金を貯めている理由...
この子らに自分じゃ教えられない
人間の知識を学ばせたいからなんでしょう?



そ、それは...

コレもいつかは知らなきゃいけないこと
それともこの子らが自分より先に
大人になっちゃうのがイヤなのかしら

ち、違っ...

なるほど...
大人の階級的な...
この例の...
ぼくは...





ふふ

ちつちやいの
胸が好きなの？

んっ...
まるで赤ちゃんね

そんなに慌てなくても
おっぱいは
逃げたりしないわよ



がつついちや駄目よ
女の子はまず
体の準備が必要なの

そう、そこも
触って...
皮をめぐって、
優しくくすぐるの

う、うん



とっても素敵

いいわよ...

ま

ちゅ

ん...

あら
可愛い顔して
こっちははずいぶん
立派なのね



ふふ、
怖がらなくていいのよ

まだ出さないで



もうちょっと、
ガマンしてね

あなたの一番濃いのは
こっちに欲しいから





どう、気持ちいい？

は、はい
とっても……

あの、でも、
パチュリーさんは
平気なんですか……？

平気って？

だってぼくこんな
ガリガリだし
気味悪いって
人里の女の子にも……



……馬鹿ね

魔女は人を見てくれで
睨めたりなんてしないし……
それにね

あなたはとっても
ハンサムだと思うわ



お姉さんは好きだな



ドキッ……

う、
うあ……

うあ
ああ
あー



いいわよ、
来て・・・

わっ
わっ
わっ

わっ
わっ
わっ

わっ
わっ
わっ

わっ
わっ
わっ

わっ
わっ
わっ

わっ
わっ
わっ

わっ
わっ
わっ

わっ
わっ
わっ

わっ
わっ
わっ

わっ
わっ
わっ

わっ
わっ
わっ

似てなんか...
ないよ

二人とも俺なんかより
ずっとイイヤツだし

千里眼程度の能力

俺にはない
すごい力だって...

いいえ、あなたにも
あなたのための力がある

私には分かる
...だって同類だから

でも今は、
そんなことより!

あなた、妖精さんを
放っておいていいの?

え?

あなたがあの子を
母親呼ばわりしない理由...
あの子をそんな風に見たくないから
なんででしょう?

あんまり邪険にしてると、
誰かにツバ付けられちゃうかもよ?

ハア
ハア...

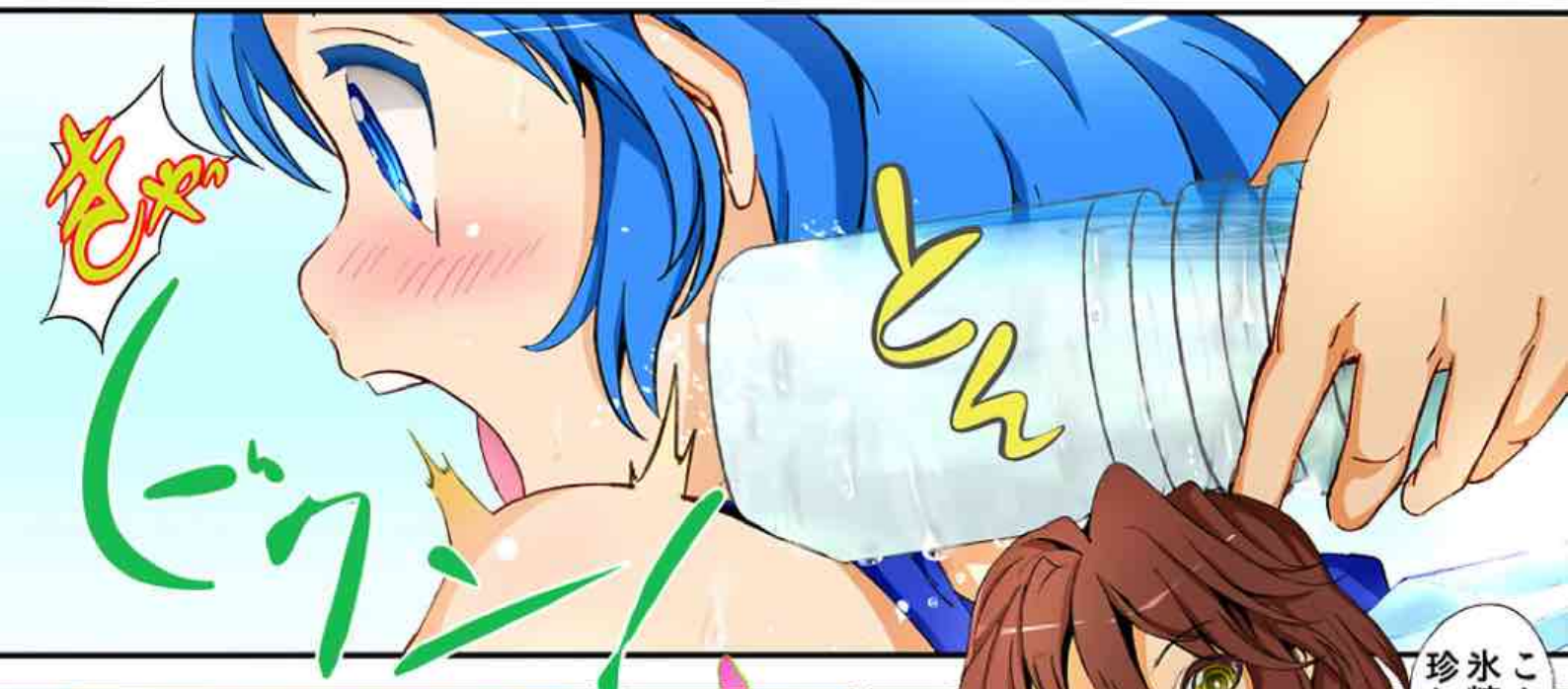
!!



くそー
あいつらめ...

湖に戻りたいなあ...

あつこ



なげ

とん



アッ

わがわが



お散歩かい？

こんな真夏日に
氷精のお嬢さんとは
珍しいね

あとがき&奥付

どうもはじめまして。レリです。今回初の個人誌を出すということで、よし一丁フルカラーでも描いてみるかと意気込んでみたのですが、やはり見通しが甘かった・・・というか、切前は時間的に厳しくて本当に修羅場でした。

そんなどうしようもないぼくを辛抱強く応援してくれた人たちや、無理な注文を聞いて下さった印刷所の方々には本当に感謝しています。そんなこんながありましたこの本ですが、少しでも楽しんで頂けたら幸いです。副題とはうらはらにまだチルノがぜんぜん活躍していませんし、もしそれを期待して手にとって下さった方がいたら肩すかしを感じさせちゃったかなという申し訳なさもありますので、また機会があれば・・・というか余裕があれば、この話の続きもぜひ描きたいと思っています。

それではみなさままたいつかの機会に。

レリ

東方木の子汁～チルノの子育て奮闘記！？～

原作：上海アリス幻楽団

発行日：2011/08/13

印刷：ひかりぷりんと様

サークル：パームサンデー

著者：レリ

pixiv ID 324298

twitter ID 8Leli8

mail 8leli8@gmail.com



東方Project fanbook
Presented by パームサンデー